産地パワーアップ事業
（都道府県事業計画書）
都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書

都道府県名　千葉県

1　産地パワーアップ計画

（1）生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状 年度	現状	現状 面積	現状 面積 単位	現状 生産量、出荷量又は処理量	現状 単位	目標 年度	目標	目標 面積	目標 面積 単位	目標 生産量、出荷量、又は処理量	目標 単位	実績 年度	実績	実績 面積	実績 面積 単位	実績 生産量、出荷量、又は処理量	実績 単位	事後評価の検証方法（※定量的な検証ができること。）	達成率（%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
									ha						ha						ha							
銚子地域農業再生協議会	3	銚子地区	未成熟トウモロコシ	農産物の国際化が進展する中、輸入農産物に打ち勝つため、生産コスト低減や効率的な集出荷体制の整備など生産体制の強化を図る取組が重要であるため、真空予冷施設の整備を図ることにより、信頼される産地として継続と生産者の所得拡大につなげたい。	集出荷コストの13%削減	平成27	3.12円/5kg	205		452,490	ケース	30	2.70円/5kg	222		500,000	ケース	30	2.70円/5kg	245		458,186	ケース	*未成熟トウモロコシ/ケース（5kg）当たりの集出荷コストにより検証する。*	100	計画どおり目標を達成している。	コスト削減が図られ、目標達成した。	
旭市農業再生協議会	4	旭市飯岡地区	いちご メロン トマト ミニトマト レタス キャベツ だいこん バセリ 他	集出荷場の再編整備により①生産品目ごとの集出荷コスト削減 ②適切な品質管理や定量出荷 ③管内耕種作物の受入体制の拡大 を図る。	集出荷コストの13%削減	27	1,265円／t	350		12,778	t	30	1,093円／t	364		13,000	t	30	1,104円／t	352		11,708	t	*集出荷に係る費用の金額により検証する。*	94	事業の実施により集出荷コストの13%削減を目指しているところであるが、集出荷コストの算出根拠となる出荷数量(t)のうち、平成30年1月から4月までの数量について、平成29年10月の台風被害の影響により著しく落ち込んだため目標に達しなかった。一方で、人件費等の節減は順調な推移を示しており、出荷数量の回復及び人件費等の節減等の継続により目標を達成するものと認められるため、引き続き現在の方策を維持するとともに、より効果的な節減が図られるよう取組主体に求めるものとする。	コスト削減が図られていることから、引き続き取組を継続する。	
南房総市農業再生協議会	10	三芳地区	水稲	穀類乾燥調製施設の再編合理化を推進し、生産コストの削減を図る。	生産コストの10%以上の削減	27	53,734円/10a	35				30	44,605円/10a	35				30	30,538円/10a	44				*青色申告決算書による（人件費、諸材料費、動力光熱費の削減）*	254	目標値を大幅に上回るコスト削減が図られ、今後の規模拡大に期待する。引き続き生産費の合理化に向けて取り組み、周辺地域の牽引役として取り組んでいただきたい。	目標値を上回るコスト削減が図られた。	
		千倉地区	水稲	高性能農業機械の導入による経営規模拡大を推進する。	生産コストの10%以上の削減	27	97,472円/10a	8				30	82,021円/10a	12				30	79,630円/10a	13.1				*青色申告決算書による（人件費、諸材料費、動力光熱費の削減）*	115	目標を上回る生産費が削減され評価する	目標値を上回るコスト削減が図られた。	
佐倉市地域農業再生協議会	11	鹿島干拓等地域	水稲	高性能農業機械の導入による経営規模拡大と生産コスト低減による収益性向上	生産コストの10%以上の削減	27	170,638円/10a					30	153,574円/10a	40				30	132,544円/10a	43.1				*農事組合法人鹿島の決算資料又は決算根拠資料等により検証。*	223	成果目標（生産コスト10%以上の削減）を上回って達成。	目標値を上回るコスト削減が図られた。	
館山市地域農業再生協議会	12	安布里地区	水稲	作業性向上機材の導入、中心的経営体に対する農地の集積	生産コストの10%以上の削減	27	87,359円/10a	4.7				30	78,086円/10a	12				30	72,843円/10a	5.4				*確定申告データにより検証（10a当たりの物財費、作業委託料、雇用費等のコストを10%以上削減）*	157	肥料や農薬を工夫し、コスト削減に取り組み。農地の集積などの取組みも行い、目標を達成した。	多角的な取組により、目標値を上回るコスト削減が図られた。	

（2）販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状 年度	現状	現状 面積	現状 面積 単位	現状 生産量又は出荷量	現状 単位	現状 価格(販売単価)	現状 単位	現状 生産コスト	現状 単位	目標 年度	目標	目標 面積	目標 面積 単位	目標 生産量又は出荷量	目標 単位	目標 価格(販売単価)	目標 単位	目標 生産コスト	目標 単位	実績 年度	実績	実績 面積	実績 面積 単位	実績 生産量又は出荷量	実績 単位	実績 価格(販売単価)	実績 単位	実績 生産コスト	実績 単位	地域（県又は国を含む）の価格（販売単価） 事業実施前年度	単位	目標年度	単位	補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法（※定量的な検証ができること。）	達成率（%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
									ha										ha										ha																		
木更津市地域農業再生協議会	6	鎌足地区	ミニトマト	環境制御機器の導入により生産効率の向上を図る。	販売額の10%以上の増加	27	7,468千円/10a									30	8,215千円/10a	1.4								30	7,153千円/10a	1.4		157,380	kg	636.3	円			689.1	円	636.3	円	1.083	7,747千円/10a	*青色申告及びJA等の販売証明による。*	37	生産量は増加しているため、環境制御導入効果が発揮されていると評価するが、十分ではなかった。生産者の技術支援を継続する。	生産量の増加が図られているが、技術習得状況が十分でなかったため、目標達成に至らなかった。目標達成に向け、技術支援の取り組みを継続する。	
君津市農業再生協議会	7	小糸地区	花き（カラー）	パイプハウスの資材導入及び予冷庫のリース導入によりカラーの生産量拡大や品質向上に取り組む。	販売額の10%以上の増加	27	13,803,292円	0.43		180,496	本	76.4	円			30	20,090,000円	0.82		230,110	本	87.3	円			30	13,867,322円	0.83		225,410	本	61.5	円			74.0	円	71.3	円	1.038	14,389,498	*JA出荷データによる*	9	生産量はおおむね目標値であるが、市場単価の下落により、販売額が目標を大きく下回っている。夏の高温が出荷本数に影響することから、空気の入替や遮光などにより温度管理を行い、出荷本数の増加を目指し、販売額の増加を見込む。	栽培面積の拡大が図られていることから、目標達成に向け、栽培技術の支援を継続する。	
富津市農業再生協議会	8	富津大佐和地区	ブロッコリー	水田裏作や耕作放棄地の活用により生産拡大を推進する。	販売額の10%以上の増加	27	7,201千円	6.1		4,549	ケース	1,582	円			30	8,213千円	8.7		5,191	ケース	1,582	円			30	8,084,962円	5		4,827	ケース	1,675	円			1,582	円	1,675	円	0.944	7,636,314	*農協への出荷数量及び販売金額を比較する*	43	熱射や豪雨などで天候が安定せず、出荷量が前年度より減少となった。同様の天候になった際に対処できるよう指導し、安定的な出荷を目指す。	目標達成に向けて、栽培技術及び規模拡大の支援を継続する。	
富津市農業再生協議会	9	竹岡西部地区	ブロッコリー	水田裏作の活用により生産拡大を推進する。	販売額の10%以上の増加	27	1,530千円	1.25		976	ケース	1,567	円			30	1,812千円	2.7		1,156	ケース	1,567	円			30	1,749,093円	1.95	ha	950	ケース	1,841	円			1,567	円	1,841	円	0.851	1,488,478	*JAきみつへの出荷販売額を比較する*	−15	天候不良による生育不良（規格外品の増加）により、目標の達成はできなかったが、今後は面積の拡大をしつつ、出荷時期を早めて製品率を向上させるよう指導していく。	目標達成に向けて、栽培技術及び規模拡大の支援を継続する。	
千葉市農業再生協議会	C1	緑区平川地区	施設野菜（リーフレタス）	低コスト耐候性ハウス7棟13,284㎡、養液栽培装置一式、出荷調製施設648㎡の導入	販売額の11.6%の増加	27	3,738千円/10a	2.3								30	4,173千円/10a	3.6								30	4,218千円/10a	3.6														*出荷伝票等で確認する。*	110	順調に生産を伸ばし、目標達成することができた。	販売金額の増加が図られていることから、引き続き取り組みを支援する。	※外的要因等による価格変動は生じない

（3）契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状 年度	現状	現状 面積	現状 面積 単位	現状 総生産量又は総出荷量	現状 単位	現状 契約取引量	現状 単位	目標 年度	目標	目標 面積	目標 面積 単位	目標 総生産量又は総出荷量	目標 単位	目標 契約取引量	目標 単位	実績 年度	実績	実績 面積	実績 面積 単位	実績 総生産量又は総出荷量	実績 単位	実績 契約取引量	実績 単位	事後評価の検証方法（※定量的な検証ができること。）	達成率（%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
									ha								ha								ha									
成田市農業再生協議会	1	成田市成田地区・酒々井町	水稲	外食・中食産業等との契約取引や直接販売の拡大	契約栽培の割合の10%以上増加かつ50%以上	平成27	44.8%	1,069		96,035	俵	43,021	俵	30	55.1%	1162.1		104,000	俵	57,300	俵	30	63.4	1,034	ha	89,690	俵	56,833.5	俵	*平成27年集出荷数量96,035俵に対して契約数量が43,021俵で44.8%となっている。 直接販売・契約栽培の取引割合を増加させ、平成30年集出荷数量104,000俵に対して契約数量が57,300俵で55.1%とする。 集出荷実績表により検証する。*	181	平成30年度実績について、契約栽培の割合が63.4%となり、成果目標は達成された。当施設を建設したことで、安心・安全のPRとなり、安定した品質のものを安定的に供給できる体制が確立され、このことを実需者へ理解してもらう事により、前年度同様に大きな契約を得ることができた。	事業を活用し施設を建設したことで安定した品質のものを安定的に供給できる体制が確立され、大きな契約を得ることができた。成果目標を達成した。	
香取市農業再生協議会	2	千葉県北総・東総地区 香取市、旭市、市原市、匝瑳市、多古町、横芝光町（和田ﾌﾞﾙｰﾌﾞ高糖度ｾﾐﾄﾏﾄ生産者）	ミニトマト	①養液栽培技術による生産性の向上と高品質化 ②高品質化による付加価値の向上、競争力の強化（有利販売の実現） ③需要者のニーズに合わせた生産量の確保と安定供給	契約栽培の割合を10%以上増加かつ契約栽培割合を50%以上	27	78.1%	4.45		361.1	t	282	t	30	88.7%	5.25		486.9	t	432	t	30	91.5%	5.67		435	t	418	t	*現状値 契約販売量282t÷生産量361.1t＝78.1% 目標値 契約販売量432t÷生産量486.9t＝88.7% 対象品目（ミニトマト）について、出荷伝票等から算出する。*	126	目標値が達成され、産地の強化に資する結果となった。	契約割合の維持向上を図りつつ、生産量を増加するための支援を継続する。	